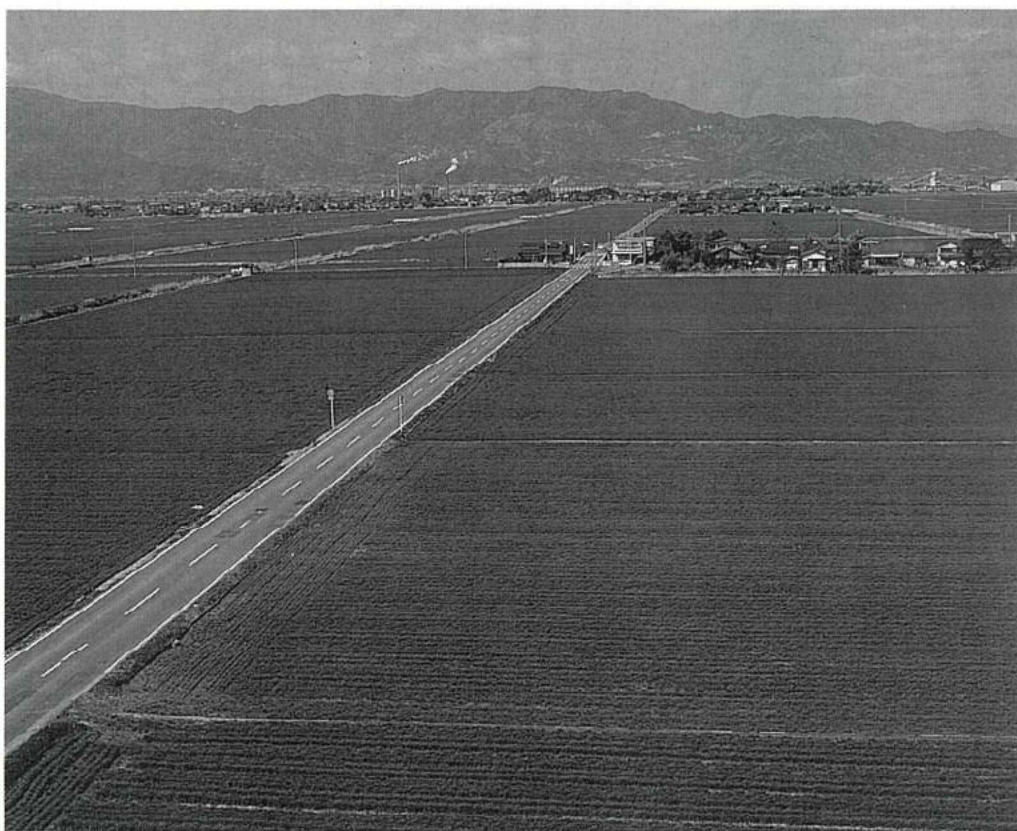




整然と整地された農地が広がる久保田町

24

1992.1

「さが新時代」を築く

ながら、佐賀県が抱えている仕事の幅の広さ、奥行の深さに佐賀県という地域の経営責任者として、その重責をひしひしと感じています。

また、これから二十一世紀に向かって、私自身が自ら先頭にたつて、新しい時代を築いていかなければならないという決意を新たにしているところです。

- 私、県政の基本理念を「活
- ① 新世紀に羽ばたく産業づくり
 - ② 健やかでゆとりある生活と環境づくり
 - ③ 未来を担う人づくりと女性活躍できる社会づくり
 - ④ 歴史と風土を生かした文化づくり
 - ⑤ さがの発展を支える社会基盤づくり



佐賀県知事

井本 勇

そしてこの目標達成のための基本政策として、

① 新世紀に羽ばたく産業づくり

② 健やかでゆとりある生活と環境づくり

③ 未来を担う人づくりと女性活躍できる社会づくり

④ 歴史と風土を生かした文化づくり

⑤ さがの発展を支える社会基盤づくり

らには、吉野ヶ里遺跡周辺の国営歴史公園事業の具体化など県勢の発展をけん引する大規模プロジェクトの一層の推進を図るとともに、西九州自動車道路、佐賀唐津間道路などの道路網の整備や下水道、公園、街路など県民生活の一層の充実のための社会資本整備、福祉・医療の充実、都市機能の整備などに努めてまいりたいと考えております。

最後にになりましたが、会員の皆様には新しい年がよりよい年でありますようお祈りいたしますとともに、今後とも郷土佐賀県の発展のために御支援をお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

謹んで新春をお慶び申し上げます。

会員の皆様方には、ご健勝のうちにご家族お揃いで平成四年の輝かしい新年を迎えられたことと存じます。

さて、私は、昨年の四月に県民の皆さんの御支持を受けて、佐賀県知事として県政を担当させていただいております。

知事に就任しまして、今

力とるおいのさが新時代」づくりとし、この理念を県民の皆様と共有するために、県政の目標として、教育、文化、スポーツ、産業など県政のあらゆる分野の活力を起し、二十一世紀に向けて経済的豊かさや併せて、このころの豊かさややすさを日本中で最も実感できる県の実現、即ち、「住みたい県日本一」をめざすことを掲げました。

の五本の柱を考えています。

また、個々の事業等の企画・立案・実施に当たっては、「環境」「福祉」「文化」の三つの視点に配慮して、県政を運営し、県民のみならず未来に希望を持ち、誇りを持てる「さが新時代」を築いていくことを決意しています。

平成四年においては、佐賀空港、嘉瀬川ダム、鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業、さ

私にとりまして、県人会の皆様方は、「住みたい県日本一」づくりの「共同事業者」だと考えております。お一人一人がかかえのない情報収集あるいは発信の基地であると思っております。

みなさんが佐賀について思い、話されたことがそのまま、佐賀のイメージとして多くの人に植え付けられていくと言つてよいでしょう。焼物、佐賀錦などのわか仕立てでない本物の伝統文化、吉野ヶ里などの歴史的遺産、唐津や嬉野などの観光地など佐賀には優れたものが数多くあります。それらが良く調和、融合した佐賀県の現状を基にイメージコンセプトを「人と自然と文化の交響曲・佐賀」、スローガンを「奏でよう佐賀シンフォニー」と決定していますが、皆様にも「佐賀シンフォニー」の響きを拡げていただきたいと思います。

平成四年 謹賀新年

本年もよろしくお願い申し上げます



名誉会長

永倉 三郎

新年明けましておめでとうございます。福岡市に在住の佐賀県人の皆様にはお元気に平成四年の新春をお迎えの事と存じお慶び申し上げます。

我が国が従来自由経済で成長を成し遂げてきたものの他国に対する経済支援と社会主義の終焉による相手国の巨大な債務遺産救済等、の対応

り出された一人ですが、半世紀を過ぎた今こそ、日本は恒久的世界平和の確立をもたらす事を目標に全世界の国々と手を携えて大きく貢献すべき

扱、今年も昨年に引き続き初めから変革の激しい年になりそうです。(中東での湾岸戦争・それが終われば、ソ連邦の崩壊危機と経済破綻など)

に一難去つて、また一難と世界平和を提唱す日本国としては今年も極めて難しい国際的役割を果さなければなりません。私も昔、太平洋戦争に駆

と存じます。また国内に目を転じてみますと、土地神話の衰退と証券業界による派手な株相場を繰り返したあげく遂にバブル現象を引き起こし相

福岡市佐賀県人会の皆様新年明けましておめでとうござい

し合ひで混乱せぬように願いたいものです。今年の経済動向は昨年より一段と厳しいものと予測されておりますが非

られる感じが致します。

扱、私達の活動している福岡は最近話題になっている中央分権地方の新時代移行に九



会長

金子 宜嗣

平和な世界になつて欲しいと念願しております。しかし、事実はなかなか希望どおりには行きません。またもや昨年の様に自由を求めて世界中がエゴ押

観材料の主なもの、不動産業界と株式証券業界に絞られ他の生産流通面は比較的多少の景気後退の試験には耐えられるだけの余裕を持つてお

州で最短距離にあるものと感じております。従いまして在福の佐賀県人会その他の方々とお互いに手を携えながら福岡と隣接する吾等のふる里佐

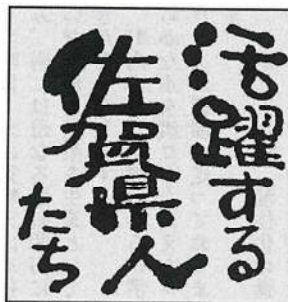
賀の発展に「福佐連合」相互が友好の絆を深め地域の融合は基より産業、経済、人材提供等あらゆる面で佐賀県発展のため確固たる基盤を皆様と一緒に築き上げる年にしたいと大きな理想を掲げて頑張りたいと存じおります。会員の方々も何卒佐賀県人会を通じては先輩、後輩ともに限りなき繁栄の道をたどりたいたいものと希望しております。先ず健康第一にそして少し(心身ともに、ゆとり)を持ち力強く新年の第一歩を踏み出しましょう。

場崩壊で経済界を振動させました、これらの不祥事である程度の影響を受けた方もおられましたが、景気動向の基調はそれほど変化はありませんので一日も早く正常な企業運営に対応されますようお願い致します。県人会の皆様今年の九州福岡は今叫ばれている地方の時代に最も適した益々発展する要素を秘めております。各位におかれましては健康第一に、活躍されられますよう心から祈念し新年の御挨拶を申し上げます。

唐津より福岡市に移ってから早いもので約二十五年となります。

福岡にあっても唐津小学校（当時戦時下のことで国民学校と称していた）の同窓会、旧制唐津中学の同期会、旧制新制高校の鶴城同窓会、それに佐賀県人会と会合も多い方です。

この様な会にはお世話される方の為にも、出来る限り出



ペンを握りながらも、最初から逃げ腰になっていたことを白状します。つい最近友人の要請で県人会支部に顔を出し始めたばかりなのに、原稿をとの依頼電話。新入りの洗礼なら致し方ないと承諾し資料を見てびっくり。「活躍する」などのタイトルでは烏滸がましくて筆が進みません。私が朝鮮はソウルの地で生を享けて六拾有余年。佐賀に住

株式会社 創美
代表取締役
須藤 務さん
(唐津市出身)



今、考えていること

席することにして居ります。家内（呼子産）に較べてこの様な会が多いので家内から、年を取って来て次第に人数が減って心細くなり、顔を合わ

せて安心するためにしきりに会があるのでしょと冷やかしても憐れみとも取れる言葉を受けています。

福岡に来てから、シールラ

福岡市東光会館
岸川 和嘉さん
(大町町出身)



故里は遠くにありて
想うもの

は皆無でした。それが年齢を重ね現役もそろそろとなった昨今、自然と県人会に出席、旧制佐高菊葉会福岡支部の会合にも足を向け始めました。文科と理科の違いで面識はあ

りませんでしたが、安都明氏も同期で杯を交わした次第。「故里は遠くにありて想うもの」とか。時折青春時代をバシカラで過ごした武雄を思い出したりします。石井市長、大坪議長も当時の悪友でした。そんなこんなで年を取る毎に県人意識も増幅されるかも知れません。

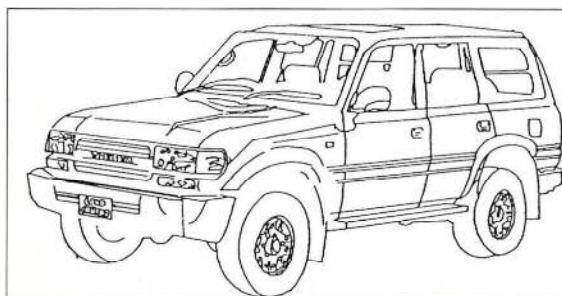
最後になりましたが、現在は福岡市立東光会館に勤務、地元住民交流の場の責任者として精一杯の努力をしております。因みに七山村との都市農村交流提携の拠点でもあります。

ベル等の印刷、それに粘着剤を使用した特殊な包装用品を製造して居ります。

私は若い頃あまり真面目に仕事をしなかったせいか、友人の半数は悠々自適の生活に入っているのに較べ、まだ数年は働かざるを得ない境遇にあります。

何れにしても如何に次の世代に引継いで行くかを考えている所です。

株式会社 創美 代表取締役
博多区榎田二丁目二一五二
TEL 四四一六一一



LAND CRUISER
80
セルシオ・クラウン・ソアラ・カリーナの
福岡トヨタ自動車

本社 〒810 福岡市中央区渡辺通4丁目8-28 ☎092・761・3331

私の履歴書

(株)佐賀銀行常務取締役福岡本部長

指山 弘 養氏

私が福岡勤務の命を受け、以来約半年が過ぎました。久しぶりの福岡勤務に戸惑いを感じている中で、図らずも県人会の副会長を仰せつかり若干緊張気味です。会長様はじめ皆様のご指導を賜り、心に「ふるさと」をもち福岡で活躍の皆様、何かお役に立てるよう努力する所存です。

今回、県人会事務局より「私の履歴書」という宿題を課せられました。今、過ぎた時代を振り返り、又、私なりに佐賀を想い、恥をしのんでお受けした次第です。



さて、昨年は「真珠湾五十年」ということで、アメリカ日本中で太平洋戦争の問題点

略歴 昭和三十三年、佐賀銀行入行。五十九年、東京支店長就任。六十三年、資金証券部長就任。平成元年業務部

としており時々送ってくれる干しバナナの美味しかったことと、子供ながら遠く父の安否を案じたことを思い出します。博多もご多分にもれず連日空襲を受けるようになり、警報のサイレン音・カビくさい防空壕の臭いは忘れられません。母は子供の身を案じ自分の里である佐賀市に疎開しましたが、その佐賀市で戦災にあい母の苦勞のものと佐賀で学生時代を過ごすことになりました。川の中で「ボウウズキン」を被りながら、空を真赤に焦がしながら落ちてくる焼夷弾を、当時は怖さよりむしろ美しさという眼でみていたことを思い出します。

小学校・中学校は佐賀大学附属小中に入學しましたが、靴も教科書も洋服も充分なものがなく、寒い冬もハナを流しながら裸足で通学し、今思えば、物質的には恵まれなかったものの、当時はそれを感じず先生の温い心、友人に恵まれ、精神的に十分満足して過ごしました。小中学時代は、ガキ大将的なところがあり、他校の生徒と喧嘩をして、先生に日が暮れるまで校内に縛られたり、悪戯をしては先生にビンタを喰ったりと、何

かと手がかかる子供だったようです。小学・中学の同窓会では悪かったおかげで先生にも、すっかり名前を覚えられ今でも冷やかされ続けという有様です。その後、佐賀高等学校に何の疑問もなく入学し、高校時代は弓道に全エネルギーを費しました。このきっかけは中の小路にあった「養神館」の側を通った時、朝の静けさと冷たい空気を裂くような……的に当たった音……に惹かれたことから弓道にのめり込みました。佐賀には弓道部はなかったのを創設する運動を行い、男女同一部をつくり上げることに成功し、仲間から羨しがられましたものの、ロマンスは生まれず今でも心残りに思っています。

「静中動有・動中静有」と先生より精神教育をこつて仕込まれましたが、「当たればいいだろう」の精神が強く、後々まで理解出来ずにいた自分を今では恥かしく思えてなりません。昭和三十五年には慶応大学に入學しましたが、当時は「安保反対・授業料値上反対」の学生運動が最も盛んな時代でした。一時、自治会の役員をしたものの、授業放棄賛成だけに応じ、友人をつ

ることに邁進し、青春を遊びに費していましたが、私にとつては一番いい時代だったように思います。

昭和三十三年卒業と同時に佐賀銀行に入行し、それ以来銀行務めに励んでいます。その中で強く印象に残るものの一つにアメリカでの半年の研修があります。アメリカのアービングトラスト（銀行）で十名のローカルの行員をえられ、仕事をした訳ですが、彼女達の反発を買った仕事が進まず困ったこと、又、それを解決し彼女達とディスコで踊り狂ったこと等、今となっては楽しい思い出です。

こうして思い出してみると、如何に多くの人の善意ある指導によって生きてきたかを改めて感じています。両親・先生・先輩・上司・同僚・友人・仲間・お客様等に今では感謝するばかりです。今からは、このご恩返しをしていく役目を負っていると思います。自分の周りの人や会社にとつて何かお役に立てるようなことは無いかを常に考え、出来ななくても精一杯やろうという精神を忘れずに生きていきたいものです。

ふるさとと首長



久保田町 森 賢一町長

あふれる清流とさわやかな
緑のまちづくりをめざして

当町は、北に秀峰天山を望み、南には母なる海有明海にいだかれた農業を基業としてきた町であります。

町内には、嘉瀬川からの清らかな水を満々とたたえたクリークが縦横に走っております。

しかし近年は、混住化の進行、あるいは生活の質的向上等、急速な社会的変化により、水質の汚濁が進み、憂慮に耐えないものがあります。

そこで我が町は、ふるさと創生事業を契機に以前のような清流を取り戻すため「清流と緑の里マイタウン創生」に取り組んでおります。

具体的には、町の中央にクリークを生じた象徴的な施設として「ふれあいクリーク公園」を町民のふれあいの場、

心のよりどころとして利用していただくため、整備をしております。

また毎年四月二十九日を「水と緑の日」に設定、全町民あげて、クリーク、道路、神社、遊園地等の清掃に励んでおります。

同時に各集落内のコミュニケーションをはかるため、イベントを実施して世代間の交流を通じまちづくりに役立てております。

このように町民が自然に親しみ、お互いに協力しあつてこそ活力あるまちづくり、ふるさとづくりができるものと確信しております。

最後に当町出身の方はもちろんのこと、皆様方も折りにふれ我が久保田町にお立ち寄り下さい。

ふるさと紹介

久保田町

久保田町は、佐賀平野のほぼ中央、佐賀市のすぐ西側に位置し、人口六、七〇〇人、総面積一四・三九〇有明海を干渉した純平坦な、のどかな農村の町です。

交通は、町の北部にJR長崎本線の久保田駅があり、また国道二〇七号線、四四四号

線の二本が町の南北を東から西に向かつて走っています。

町の主な産業は農業で、米を中心に、キュウリ・イチゴ等の施設野菜、肉用牛の肥育などがさかんです。最近では、消費者のニーズに合わせ安全で新鮮な食べものを供給するため、減農薬、有機栽培に力



「水と緑の日」の全町民あげての清掃

を入れております。また、当町は、海苔生産日本一の有明海にも面しており、海苔の生産も行われています。観光面では、県都佐賀市周辺住民の憩いの場として、森林公園が旧嘉瀬川河川敷地跡に整備されており、現在より広域的な都市公園として設備の充実を計るため、野球場多目的広場の建設が予定されております。

毎年、十一月初旬には、嘉瀬川河畔でバルンフェスタが開催されており、佐賀平野の秋の風物詩として多数の観光客に喜ばれております。

庄巻は、有明海特有の干潟であります。日本では他に例を見ないほどのスケールで、干満の差は六m以上に達し、延々数kmに広がる干潟は大自然のもつ雄大な営みを充分満喫できるものと思ひます。

大自然のふところをいながら広々とした豊饒の地にそびえ立つカントリーエレベーターを眺め、その土地で収穫した産物を食するならば、かならずや人生の喜びを感じることができると思ひます。

近くにおこしの折は是非当町にお寄り下さい。

特別寄稿

みちのく墓参

村山 勇 吉(俳号 碧杉)

秋田県の北部、秋田市から奥羽本線で一時間半ばかり山間に入ったところに二ツ井という町がある。

十和田湖に源を発する米代川の豊かな流れに沿った山紫水明の峽の町である。

ここに、清徳寺という曹洞宗の古い禅寺があり、この寺の境内に、明治元年の戊辰の役に遠く北征して戦死された佐賀、小城両藩の次の方々を祀ったお墓がある。

佐賀藩 村山又兵衛
内田祐八 久保幸之助
西城藤一郎 原喜惣太
小城藩 香田市助
(兵夫) 儀平、弥平

戊辰戦争における佐賀藩の活躍の事績については、昭和五十一年、佐賀藩戊辰戦史刊行会により刊行された宮田幸太郎氏の著作「佐賀藩戊辰戦史」に詳しく誌されているところであるが、家内の曾祖父にあたる村山又兵衛も、佐賀藩の砲兵隊長として秋田に転戦し、坊沢という部落で戦死



秋田県二ツ井町の清徳寺にある佐賀、小城両藩の戦没者の墓

してこの寺に祀られている。清徳寺の和尚は、麻三(まさん)と号される俳人でもあり、毎年の年賀状のやりとりは欠かさなかつたが、今日まで墓参を果たさず、心に懸る一事であつた。

一昨年、古稀を記念して私の句文集「老杉」を刊行したの句文集「老杉」を刊行した

時、その一本をこの清徳寺の和尚にもお送りしていたところ、同じ二ツ井在住の秋林欽也と称する人から突然の来信があり、自分は代々清徳寺の檀徒総代を勤めている者であるが、本日、清徳寺の和尚から貴台の「老杉」と示された巻末の略歴を拝見したところ貴台は横浜専門で私の三期先輩であることを知った。自分も些か俳句を嗜む者であり、是非その一巻を送って欲しいとの文面であつた。

私は喜んでこの要請に応じたが、この縁で、秋林君からしきりに訪秋の誘いをうけていたのである。



麻三和尚と筆者

十月十日の秋田路は、台風二十一号の影響もあつて、風が強く、肌寒い日であつた。

午後三時、清徳寺の山門を敲く。麻三和尚は既に齢八十三歳ということで、住職を譲られた閑栖の身であられたが、慈顔

追記
(戊辰戦史によれば、今市の如來寺十四名、会津若松の融通寺十一名、秋田市の金良寺二十六名の佐賀藩戦没者の墓があると誌されている。)

公認会計士・仁比山出身)

新大臣誕生

先の愛野興一郎経済企画庁長官・保利耕輔文部大臣に続いて、山下徳夫厚生大臣・山崎拓建設大臣誕生。

山下徳夫厚生大臣は、伊万里出身、衆議院当選八回。今回の入閣は運輸大臣・総務庁長官・官房長官に続き四回目。面倒見の良さは抜群。

山崎 拓建設大臣は、福岡市出身、母方の里が小城町とあって県人会への気の入れ様は入。衆議院当選七回。宇野内閣の防衛庁長官に続いて二回目の大臣。

陣内 孝雄氏

農水次官に就任

佐賀県選出の陣内孝雄参議院議員が、昨年十一月発足の宮沢内閣の農林水産政務次官に就任。一月八日神埼町で約百五十人が出席就任を祝った。コメの市場開放問題が大詰めを迎えているだけに、「国の安全保障の面からも、農業を守る必要がある」と自由化阻止の構えを強調、「快適な農村づくりを目指し、環境の整備を図りたい」とあいさつした。

佐賀県だより

新首長

▽牛津町長（7月17日）
（無投票）
石井 祐嗣氏 農業 ①

▽白石町長（7月23日）
（無投票）
川崎 修朗氏 町長 ②

▽玄海町長（10月27日）
鶴田 留蔵氏 会社社長 ①
（対立の中山穂氏を破る）

▽太良町長（11月12日）
（無投票）
杉崎順之輔氏 68 町長 ②

▽県内人口八十七万人余
県統計課が八月六日発表した国勢調査（九〇年十月一日現在）の確定数によると、県内の人口は八十七万七千八百五十一人で、郡部を中心に前回（八六年）より二千六百二十一人減少した。佐賀市の千七百一十一人ははじめ三十三町一村で増加し、一方、伊万里市など四市二十四町村で減少した。

▽長崎新幹線の代替案
佐賀、長崎、福岡の三県でつくる九州新幹線長崎ルート

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

促進期成会会長の井本知事は九月十七日、同ルートの早期着工させる狙いで、現アセスメント案を大幅に短縮する県の代替案を発表した。在来線の活用と、ルート短縮などが主な内容で、地元主導による計画の見直しは全国でも初めて。井本知事は十月二十日から、県内で開く「三県サミット」に提案した。

「お堀越え」は折衷案に

佐賀市の都市計画街路・佐賀駅—末次線の、いわゆる「お堀越え」問題を話し合う同線整備検討委員会の最終合合が九月開かれ、橋梁と土盛りを併せた方式の折衷案で一致した。市民らの関心が集まる中、同委員会は一年間で結論を出したことになる。今後、具体化が進みそうだ。

農家所得九年連続日本一

九州農政局佐賀統計事務所が九月十九日、発表した平成二年度の県内農家経済調査によると、一戸当たりの平均農家所得は過去最高を更新した。前年度比三・五％増の七百六十二千円で、初めて七百万円台に乗るとともに、九年連続で九州ナンバーワンとなった。



田中氏が商議所会頭に

香月義人・佐賀商工会議所会頭（佐賀銀行会長）の死去に伴い、田中稔・佐賀銀行頭取が九月二十日の臨時総会で第二代会頭に就任した。田中新会頭は昭和十九年、東大法学部。同二十二年、大蔵省入省。北九州財務局理財部長、

会計検査院第四局長などを経て、同五十二年、顧問として佐賀入り。同五十三年、副頭取、同五十五年から頭取。武雄市出身。六十八歳。

田中氏は九月二十五日の九州・山口経済連合会理事会でも副会長に選出された。

大和紡績跡地の活用法

旧大和紡績跡地の活用について、県と協議を進めてきた佐賀市は九月十二日、市議会全員協議会で①跡地を四ブロックに分けて利用する②これまで県と市が二分の一ずつ所有する方針だったが、県四分の一、市四分の三に変更する③民間への処分は北プロックの一面を充て、情報・高度技術の拠点として報道機関を導入する—などの概略を説明した。

錦織りの絹布片確認

吉野ヶ里遺跡から出土した弥生時代後期初頭（一世紀末—二世紀初め）のカメ棺に付着していた絹布片に、国内最古の錦（にしき）織りの技法が用いられていたことが十月八日、京都市の古代染色研究家、前田雨城氏の科学分析で分かった。同時代の古代織物

で錦織りが確認されたのは全国で初めて。

ヒマラヤ未踏峰に登頂

ヒマラヤの未踏峰・チェオヒマール（標高七、〇八〇メートル）に挑んでいた「いまり山岳会・ネパール国警察国際合同隊」の四人が、十月十三日午後、初登頂に成功した。



国営公園化を決議

史跡所在地など五百四十五市町村でつくる全国史跡整備市町村協議会は十月十七日、福井県で開いた本年度総会で、吉野ヶ里遺跡（国指定特別史跡）の国営公園化を要望する大会決議を採択した。全史協は加盟地区選出の国会議員を中心にした史跡保全議員連盟

とともに、歴史的遺産の保存整備に力を入れている。

また、九州地方知事会も十月二十九日、別府市で開いた会議で、吉野ヶ里遺跡の国営公園化を特別決議した。

吉野ヶ里フェスタ

国営公園化を目指す吉野ヶ里遺跡を舞台に、十月十八日から三日間「吉野ヶ里フェスタ」が開かれた。三日間の入出は十四万人で、うち七万五千人は最終日に訪れ、「宗次郎スーパライブ」などを楽しんだ。同フェスタには県内各地の特産品を販売する出店（百四十店）がそろったほか、郷土芸能会場では各地に伝わる浮立や太鼓が披露された。

国際陶芸祭を誘致へ

井本知事と国際陶芸アカデミーのマゾー・クルリー事務局長ら幹部が十月三十一日に会談。その結果、県が働きかけている一九九六年秋の同アカデミー定時総会の県内開催が決まった。国内開催は京都に次いで二番目。県は総会に合わせて実施する大型企画「国際陶芸祭」の概要を説明。世界・日本の焼き物の歴史、作品を一堂に展示するほか、陶芸文化交流の大イベントを展開する方針を示した。

県内のコメ作況が全国最低

九州農政局佐賀情報統計事務所は十月三十一日、県内の

平成三年産コメの予想収穫量（十五日現在）を発表した。それによると、十割当たりの収量は三百四十九キログラム（五年五百八十八キログラム）で、作況指数は前回予想（九月十五日）から二四ポイントも低下して六七の「著しい不良」となった。これは全国最低で、県内でも昭和二十六年の七九を更新、戦後最低の作柄となった。

名護屋城跡資料館着工

国特別史跡・名護屋城跡東松浦郡鎮西町の保存整備を進める県は十一月十三日、中心施設の県立名護屋城跡資料館（仮称）の建設に着手した。資料展示と調査研究の二つの機能を備え、五百人収容のホールも併設。二階建ての規模は県立美術館とほぼ同じで約四千三百平方メートル。城を正面に望む大手門南側の丘陵に位置。総工費は約二十三億円。歴史的事実を踏まえた上、新たな善隣友好の場とする考えだ。九三年秋の完成を目指す。

佐賀インターバル大会

晩秋の佐賀平野を舞台に十一月十九日から七日間、「91佐賀インターナショナル・パルンフェスタ」が繰り広げ



い思い入れを感じています。そうしてその度に日本の二十五倍の国土と十倍の人口を持ち毎年八百万の新しい就業青年を生み出す中国大陸の底力



私は平安北道にあった七連隊の陸軍官舎の生まれですが、昭和十九年からの六年間は鏡山や虹の松原・松浦川の渡し舟がなつかしい中学高校時代を過ごしました。あれから五十年、福岡県庁生活を経て今は県民の皆さんの国際化を推進する組織の中にいます。ところで昨今の国際化の流れはグローバル化ボーダレス化が急ですが、特に上海・西安・吉林・昆明と引き続いての中国からのお客さんには日本の経済と技術への深く熱

今、中国に

確かな視線を

中村 健さん

を眼のあたりにするのは、顧みて私達はナショナルリズムに激しく揺れた不幸な歴史を体験していますが、だからこそ今度は次の世代のために日中の相互理解と友好親善を基軸としたアジアの共生共栄の礎をしっかりと根づかせておきたいと願っています。このごろです。(福岡県国際交流センター専務理事、博多区博多駅南一三一一、Tel 451-4411浜崎町出身)

ソビエト体験

村岡 安次さん

県人会の皆様、新年の御祝詞を申し上げます。小生、昨年の十二月にソ連邦へ参りました。成田より約九時間のフライトの後、モスクワに着きました。午後二時というのに薄暗く、闇の世界へ入っていく様でした。午後三時をすぎると真暗になり、寒さと不安で、心細くなりました。ホテルへ着き、日程を決めモスクワ・サンクト・ペテルスブルグ(レーニングラード)の全行程とホテルが明確になりました。毎日がロシア料理ですが、一般市民の物不足は大変深刻で冷え込む中の食料品の



行列は、朝五時からだそうです。一ヶ月四〇〇〇六〇〇ルーブルが所得ですが(ルーブル約三円弱)物価の値上がりで異状で高く買えない人々が多いとの事です。一個六十ルーブルのハンバーグに二百メートル位の列が出来ています。赤の広場のレーニン廟は厳重な警備の中で見ることができましたが、反対派の爆破予告等で異様な状況でした。サンクト・ペテルスブルグは、欧州風のきれいな街で、有名なエルミタージュ美術館・パヴロフスク宮殿等を見て、帝政時代の財宝・絵画のその量の多さと質の高さに驚かされました。西ヨーロッパとの合併の会社が少しづつ出来て居り、商用で訪れているドイツ人を多く見かけました。今回感じましたのは、流通のシステムがなく、物資が思う様に配布出来ない、所得にしても、闇の市場には

多くの物があるが高くて手に入らず、介在している人々は、暴利を得ている。実際、街には西欧の高級車が乗られていて、一食千ルーブル以上の店に多くの人々が集まっている。マフィアが存在もあり、多くの若者が露店で物を売ったり、ドルとの闇交換を持ちかけたりしています。勤勉な労働より、法を無視した中での商いが行われていました。物不足を心配して、食料品等(羊かんも含む)を持参しましたが、現地のガイドの人々に差しあげました。

帰る二日前にルーブルが半分の価格となり、買物は楽でしたが、両替所にはルーブルがなく、交換の為に昼食の時間がなくなりました。夜中に暖房がきかなくなったり、TVがうつらなくなったり、ハブニングは当たり前ですが、ガイドの真面目な青年は夜中まで、修理が終わるを見届け、零下一六度の中を帰っていききました。学歴も高く教養もあり、大変真面目な人達が多いのですが、どうしたら国のシステム・生活のシステムが良くなっているのか……。自由主義に変わっていくにも、多少の年月がかかりますが、多くの

新刊紹介

佐賀弁小事典

福山 裕著

年々消えてゆく佐賀弁の小事典。佐賀西部、唐津、鳥栖、さらに筑後や周りの肥筑方言等も加えて、約六〇〇語。若い人にも読み易い横書き、簡潔な解説、挿図などで親しみ易い。発行所(佐賀新聞社、一、八〇〇円)

伊万里ことば

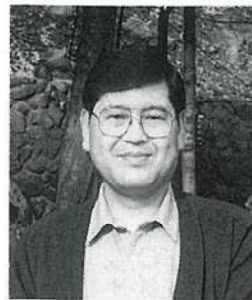
小川光次著

伊万里言葉の今昔語源を述べながら文献としての確かさと読みものとしての面白さを満喫できる。どこを開いても楽しめる本。伊万里弁七〇〇、用例三八〇〇に及ぶ。発行所芸文堂、一、八〇〇円

このごろ 私は

近況報告

江里口 勉さん



私は、春日市の北端部にある佐賀銀行須玖支店に勤務しているが、赴任してきたのが昨年の二月であるので、早くも一年を経過しようとしている。年齢を重ねるごとに時の経つのが早く感じられるようになったが、私は十年前も県人会の中の若楠会に入ってもらい、色々活動したことを覚えている。あの頃は三十代の半ばで、体力・智力ともに油の乗り切っていた頃で、多少の無理はむしろ刺激剤になっていた。今は、昔流で言えば不惑を越え、天命を知る頃となり、体の動きが鈍くなってきたように感じる。体力的にはこのように衰えてきたかも知れないが、精神活動はまだまだピークを迎えた訳ではないというデータもあるもので、これに期待をかけて、もっと思考力を高めていきたいと考えている。

ともあれ、二度目の福岡県内の店での勤務となり、旧友とも再会ができて非常に嬉しく思っている。県人会の顔ぶれも、当時からするといくらか変わったが、まだまだ現役の方が健在であり、佐賀県人会のバイタリティに感心している。

一極集中という言葉が使われてから久しいが、昔は東京へ草木がなびくごとく、あらゆるものが集中していた。しかし今ではそれが地方に分散しつつあり、九州では福岡県が核となっている。佐賀県はこの福岡県に隣接することから、色々な面で関係が深まってきたっており、経済圏としては一体化しつつある。佐賀県人会のメンバーの中にも、この一翼を担っている方も沢

山おられ、県人会の存在は、益々重要なものとなりつつあるように思われる。

このような時に再び福岡県で仕事ができることは、銀行員冥利に尽きると考えている。今後とも、皆様のご指導を仰ぎながら、切磋琢磨していく所存ですので、ご虫員のほどよろしくお願い申しあげ次第であります。

まずは近況報告まで。

(佐賀銀行 須玖支店長・小城町出身)

安心な住まい選びに 『トヨタホーム』を

近藤 隆二さん



三十有余年勤務させていただいた昭和自動車(株)から、同じ昭和グループ四〇番目の新会社として、平成三年五月に設立されたトヨタホーム福岡(株)に転籍しています。

トヨタ自動車(メーカー)が非自動車の核として、住宅事業部門の拡充をはかるのに呼応して、メーカーが造る「トヨタホーム」の販売、施工、サービスが主たる営業種目になります。

「トヨタホーム」はメーカーがクルマ(車)づくりの技術を活かした高品質、ハイスピード施工、工業化率八〇%の建物(住宅・事務所・店舗)です。

- 強さ：サビに強いカチオン電着塗装。地震、台風、強いラミネート構造。
- 頑強なジョイント。
- 断熱性：優れた断熱性により、冷暖房コストを低減。
- 遮音性：外壁遮音。居室間遮音。1・2階間衝撃音遮音。

○「優良工業化住宅」認定：住宅金融公庫融資が一五〇万円割増になる特別融資が受けられるのも多数。

安心な住まい選びに。お気軽にご用命があります。(トヨタホーム福岡(株)取締役統轄本部部長、早良区城西一丁目8番40-204号 ☎846-3953 唐津市出身)

ビジネスに即戦力！ レンタカー／カーリース



よいクルマ・よいサービス

トヨタレンタリース福岡

本社：〒816 福岡市博多区東光寺町1丁目1番1号 TEL (092) 461-0100(代表)・FAX (092) 451-0131

佐賀県人会 三代目会長

故川崎力三翁を偲ぶ

会長 金子宜嗣



福岡市に在住する私ども佐賀県人会員として、その先駆者で今日の県人会発展の基礎を築かれた川崎力三氏が、去る平成三年十月「九四歳」の天寿を全うされましたので謹んで会員の皆様に御報告申し上げます。川崎翁は明治三十一年佐賀県白石町のご出身で、大正十四年明治大学を卒業され、同年九月に日本弁護士試験合格・昭和四年福岡県弁護士会に登録なさいます。爾来六十二年間の永きに亘り九州法曹界の重鎮として法の裁きに対し、常に弱き立場にある庶民に公平にして暖かき声援を送って下さいまして、その恩恵を受けし人々は枚挙にいとまがないものと存じます。

その傍らへ松下電器・福岡信用金庫・富士倉庫・新五木鉱山・川崎興産・九州松下電器・福岡商工会議所等々わけて要職に関与なされ、加えまして当佐賀県人会には昭和三十三年から同五十三年迄実に二十三年間会長として幾度も、老いも若きも福岡在住佐賀県出身者を招き夢と希望のシンボルとして、親しく語らいの場を開かれその度に何かにつけ励ましに預かった人々も今では立派に成長されて居られる事と存じます。川崎翁は（強き正義感、意志強固、誠実努力）そのものの御人柄で、多くの方々から心から尊敬と親しみを受けての人生であられました。又、ご趣味は読書、書道、ゴルフ、とりわけ健康の為にゴルフにはよくお出掛けになられました。現会長の私は六代目でございまして、偉大なる先輩会長川崎力三翁のお姿を会員の皆様と共に偲びながら、故人の御冥福お祈り致したいと存じます。合掌。

新会員ご紹介

（敬称略・氏名、連絡先電話番号、職業、出身地の順）

田中丸善亮

▽（株）福岡玉屋▽牛津町

豊増 秀男

▽豊増デザイン事務所▽鳥栖市

近藤 隆二

▽トヨタホーム福岡（株）▽唐津市

園田 芳子

▽西日本ビジネス印刷▽三日月町

松尾 浩

▽三光印刷（株）▽伊万里市

前田 文義

▽三光印刷（株）▽伊万里市

真崎寅二郎

▽三田川町

坂本 清美

ト業▽唐津市

瀨野 正秀

▽室見整骨院▽塩田町

瀬戸口大三

▽梅林建設（株）福岡支店▽佐賀市

弥永 恭平

▽工芸の店あきやま▽佐賀市

今村 雅弘

▽九州旅客鉄道・総合企画本部経営管理室▽鹿児島市

入会の勧め

県人会では毎年恒例の行事として、年度総会および懇親会を催し、会員の親睦、交流を図っています。また会員には年二回発行の「会報むつごろ」をお届けします。未加入県出身者に入会を勧めて下さい。入会あるいは紹介の問い合わせは、下記の県人会事務局へどうぞ

編集デスク

井本佐賀県知事を高田副会長にお供して表敬訪問、「むつごろ新年号」の原稿依頼にも笑顔で快く承諾していただき、佐賀新聞社では、中尾社長のご配慮で（前むつごろ編集長）大草佐賀新聞社企画部長にも同席いただき、今までの情報提供を約束していただき、これからも「佐賀県だより」をご期待下さい。お土産に、「佐賀弁小事典・福山裕著」をいただき、久し振りに訪う佐賀の街並を懐かしみながら帰路に着く。忙中閑ありの師走の一日でした。本年もよろしくお願い申し上げます。（T）

会報むつごろ

平成4年1月25日 発行

福岡市佐賀県人会

（発行責任者 田中 秀男）

福岡市中央区大手門2-3-7

昭和商事石油株式会社

☎ 092-714-3111

制作 (株)タナカ製本印刷所

☎ 0955-23-5214